



# 株式会社フューチャーインク Vital Beats

## 設置方法 詳細説明書

- ・安全にお使いいただくために
- ・機器の破損/故障を生じさせないために

**Vital Beatsを設置する際に、必ずお読みください**  
(破損/故障の場合、有償対応となる場合があります)

(2021/01)

# 1. 設置の準備

## 1-1. 設置場所のベッドと電源コンセントの場所を確認してください

- 電源コンセントからベッドまでの延長電源コードをご用意ください  
(Vital Beatsの製品には含まれておりません)
- 掃除やベッドメイクの際に、ベッドを動かす範囲で延長電源コードが引っ張られないように十分な長さのコードとしてください

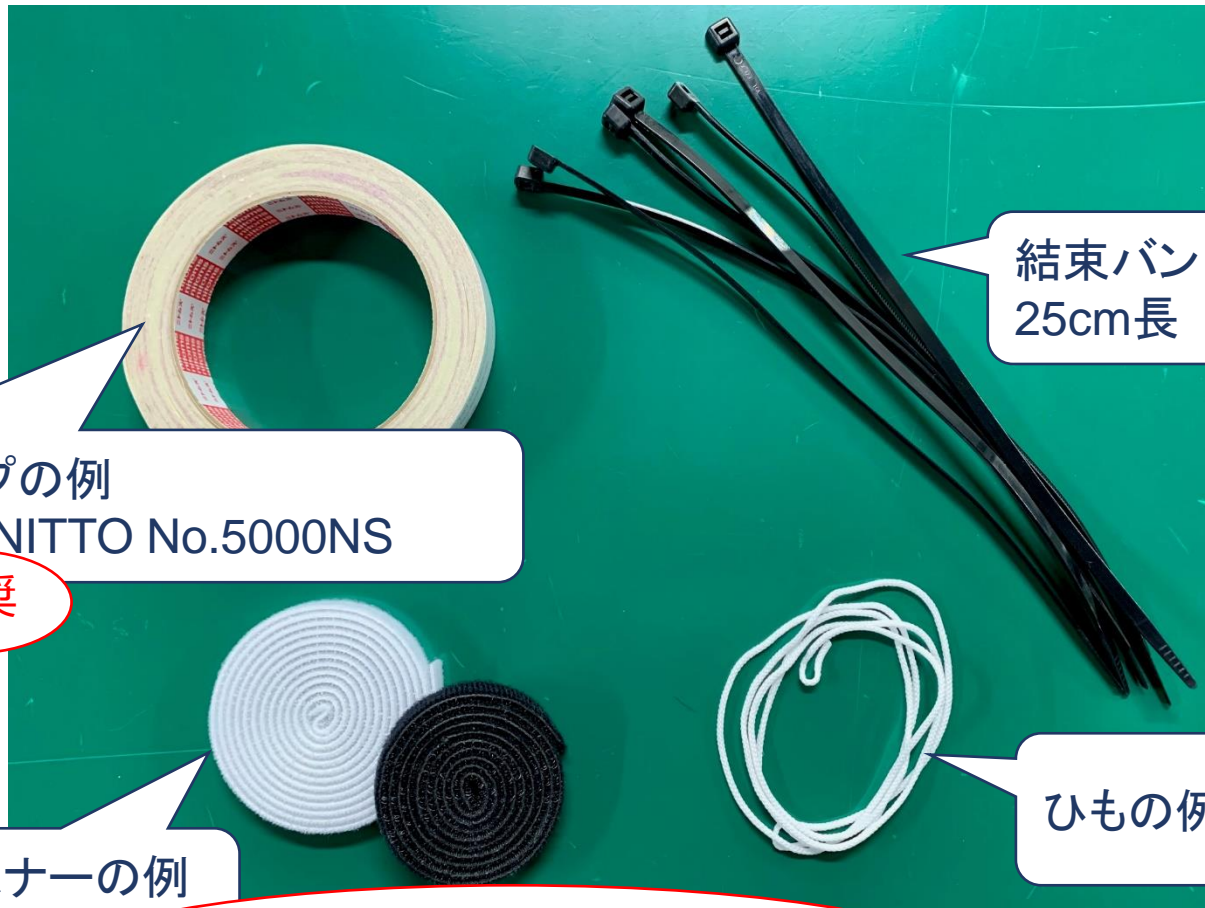
## 1-2. お手元のVital Beatsの機器をご確認ください

- シートセンサ ×1
- 通信機 ×1
- AC電源(通信機用) ×1

## 1-3. 上記以外に、以下のものを必要に応じてご準備をお願いします

- シートセンサの固定に使う両面テープ
- 通信機およびケーブルの固定に使うひも、面ファスナー、結束バンド など
- テープ、ひもなどを切るはさみ

# 1. 設置の準備



両面テープの例  
ニトムズ NITTO No.5000NS

推奨

結束バンドの例  
25cm長

面ファスナーの例  
1cm幅

通信機の固定やケーブルの  
整頓には面ファスナーを推奨

ひもの例

# 1. 設置の準備

## 1-4. 設置場所の無線LAN電波強度を確認してください

- 本資料、4. 通信機の設置 の  
4-4.通信機をベッドフレームに固定してください の写真を参考に  
通信機の設置場所（ベッド近くの通信機の設置が想定される場所）での  
無線LAN電波強度を確認してください  
⇒ 電波強度が低いと、通信が途切れます
  
- 通信機の設置場所において、使用時間帯で常に-60dBm以上であることを  
確認ください  
※無線LANのアクセスポイントからの距離、扉の開閉、人の往来、  
他の電波発生源（電子レンジ、コードレス電話など）、  
昼夜の外来ノイズの多少の差、などにより強度は変化します  
※電波強度の確認方法  
スマホのアプリをご利用ください  
    android : Wi-Fiミレル(I-O DATA DEVICE) または  
            Wifi Analyzer(farproc)  
    iphone: AirMac  
⇒ 電波強度が低い場合、施設の通信設備管理者にご相談ください

## 2. 延長電源コードの設置

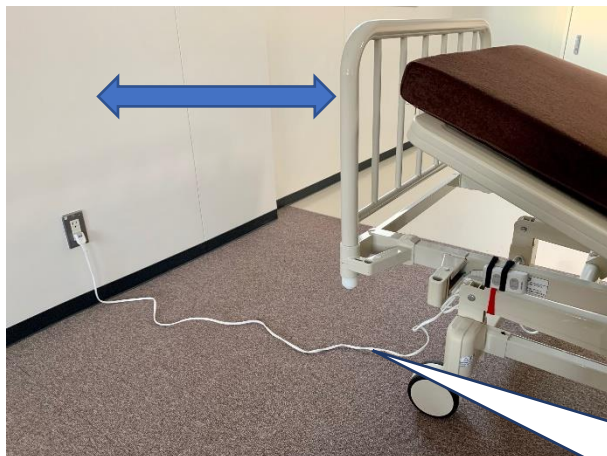
- 製品付属のAC電源を直接コンセントにさすことは、ケーブルが引っ掛かった場合や、ベッド移動の場合に機器破損の原因となりますので、おやめください



## 2. 延長電源コードの設置

### 2-1. 電源コンセントからベッドまで、延長電源コードを設置してください

- 掃除やベッドメイクの際に、ベッドを動かす範囲で延長電源コードが引っ張られないこと、ベッドの脚に引っかからないことを確認してください



ベッドの移動範囲でコードが引っ張られず、少し余裕があるようにしてください

## 2. 延長電源コードの設置

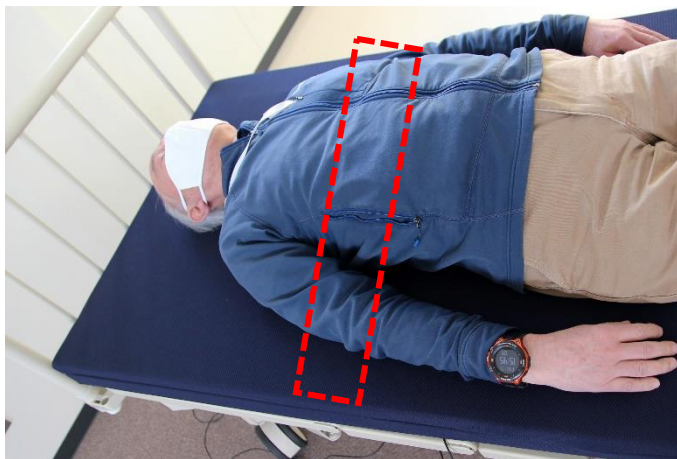
2-2. 延長電源コードのタップ部分を面ファスナーなどを利用して  
ベッドフレームに固定してください

- 利用者がベッドに乗り降りする側面にはタップを固定しないでください  
→ 利用者の足に引っかかると危険です



## 3. シートセンサの設置

### 3-1. 利用者のみぞおち直下にシートセンサが位置するように設置します





### 3. シートセンサの設置

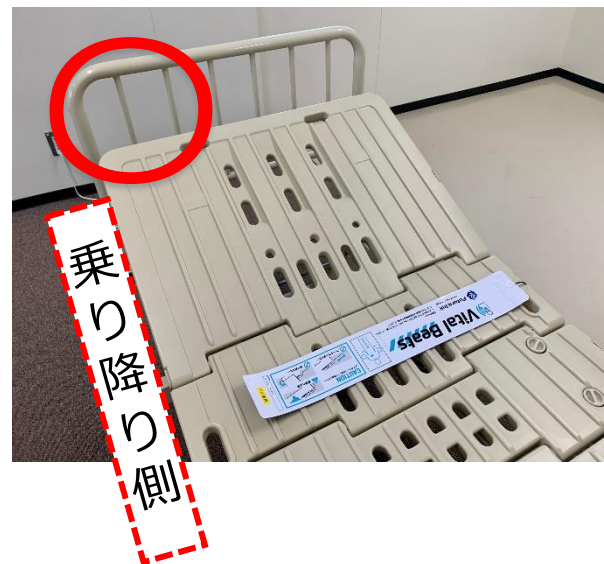
- ベッドフレームに可動部がある場合、その動作によってシートセンサが折れ曲がらない位置に設置してください



ベッドが折れ曲がる部分にシートセンサがまたがっています

### 3. シートセンサの設置

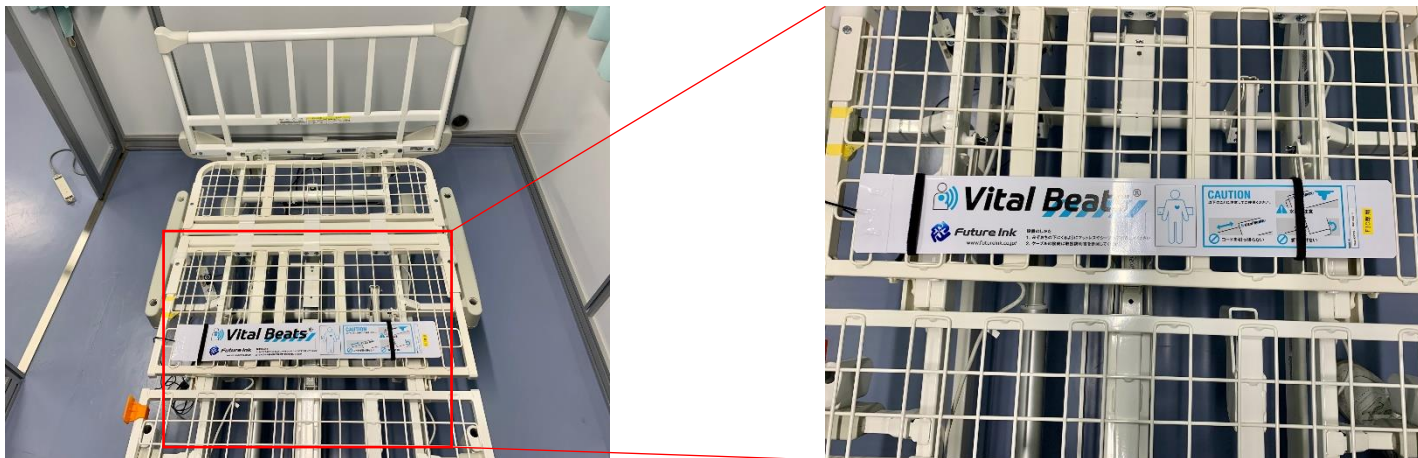
- 利用者がベッドに乗り降りする側面の反対側にケーブルを出してください  
→ 利用者の手足に引っかかると危険です
- シートセンサのVital Beatsと見える面を表にしてください  
(利用者の仰臥の方向と文字の向きが逆でも構いません)



- 位置と向きが決まったら、両面テープでベッドに固定してください

## 3. シートセンサの設置

- 両面テープで固定できないベッドの場合、面ファスナーなどで固定してください



## 4. 通信機の設置

### 4-1. 設置場所を決める前にベッドの状態を確認してください

- ベッドにギャッチアップ/リクライニングなど可動部がある場合、使用する最大可動域まで動かした状態にしてください  
→ この作業の後の5.ケーブル整頓に必要な作業です



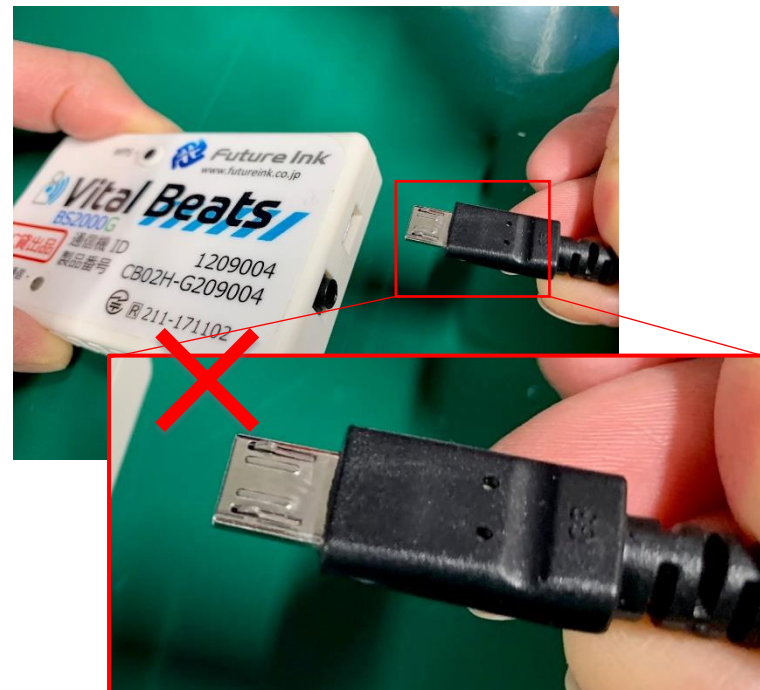
## 4. 通信機の設置

### 4-2. 通信機とAC電源を接続します

※AC電源についているマイクロUSBプラグには向きがあります

※向きを間違えて無理に差し込むと、破損の原因となります

- 通信機のVital Beatsと見える面と、付属のAC電源のマイクロUSBプラグ上のアイコンがついている面が、一致していることを確認してからしっかりと差し込んでください



## 4. 通信機の設定

### 4-3. 通信機とセンサケーブルを接続してください

- センサからのケーブルを通信機にしっかりと差し込んでください



## 4. 通信機の設置

### 4-4. 通信機をベッドフレームに固定してください

- 通信機を①センサからのケーブルと、② AC電源のケーブルが延長電源ケーブルのタップに届く範囲で、ベッドフレームなどに固定してください
- 床に直接に置くことはやめてください  
(通信障害の原因となります)



## 4. 通信機の設置

- このように設置していただいても構いません

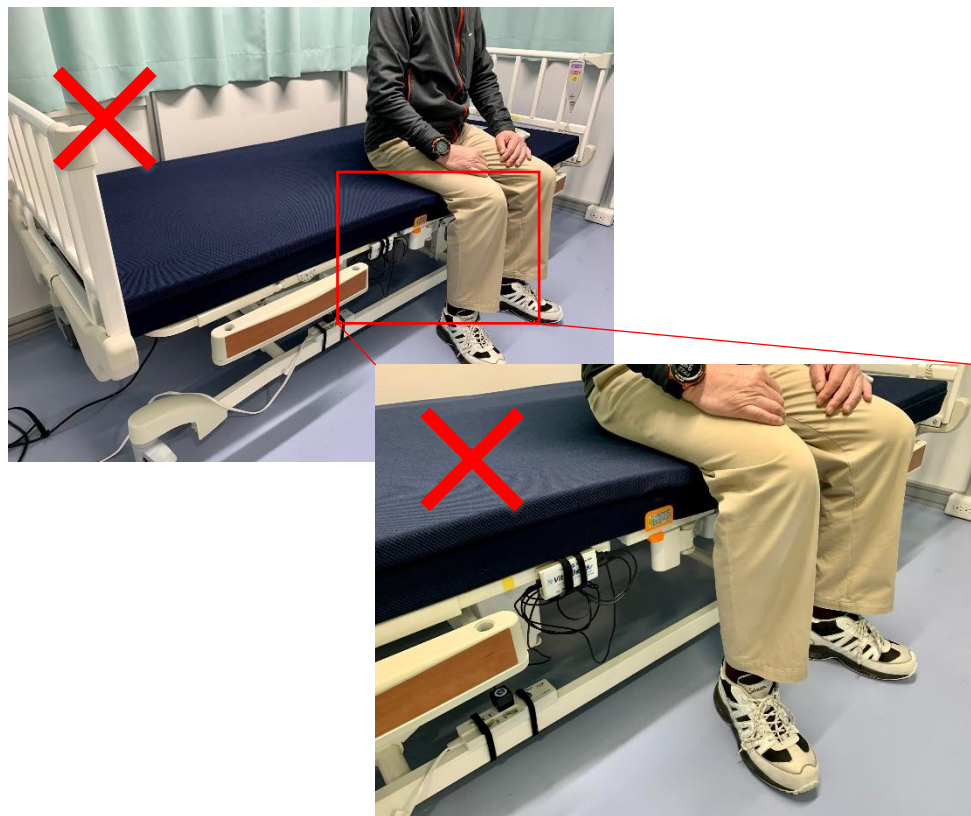




## 5. ケーブルの整頓

### 5-1. ケーブルを整頓してください

- 利用者がベッドに乗り降りする側面にはケーブル類が出ていないことを確認してください

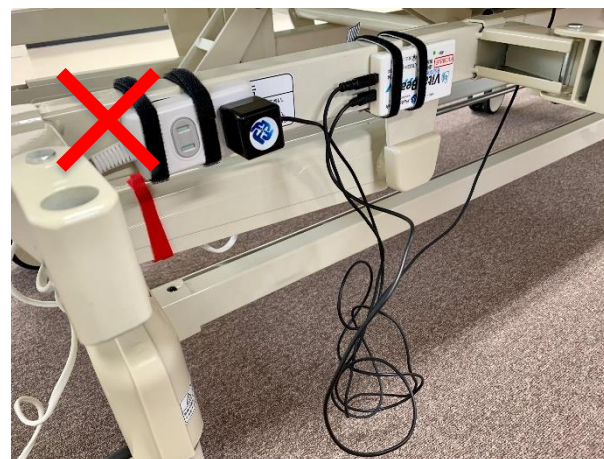


## 5. ケーブルの整頓

### 5-1. ケーブルを整頓してください

- ケーブルに手足が引っ掛からいよう、たるんだ部分はベッドの可動部に挟まれない場所に、しっかりと固定してください

※ベッドがフラットな状態でこの作業を行うと、ギャッチアップやリクライニングの動作の際にケーブルが引っ張られ、ケーブル断線などの原因となりますので、必ず最大可動域を確認したうえで、たるみ部分を調節して固定してください



## 6. 最新情報の入手

設置方法の詳細説明は以上です

安全にお使いいただくための情報は随時更新しております

<http://www.futureink.co.jp/vitalbeats/>

の情報もあわせてご利用ください

右のQRコードからもご利用いただけます

